

実験の実務：実験条件・パラメーターの 考え方とデータ取得

- ◆日時：2025年11月26日(水) 10:30~16:30
- ◆会場：【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆聴講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
通常1名様申込で55,000円(税込)から49,500円(税込)へ割引になります。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士(工学) 奥村 治樹 氏

研究開発、商品開発はもちろん、問題解決、工程管理などあらゆる場面で実験は必要不可欠なものです。そのような実験を考えるというプロセスの中で最も重要なものに実験パラメーターの選択と実験水準の設定、そして、実験結果の解釈があります。多くの方にとって悩みの種であると同時に、適切に検討されていないという実態があります。とりあえず温度を変えてみようか、とりあえず振ってみるか、といった「思い付き実験」や「とりあえず実験」といった無駄な実験が散見されます。これは、実験を検討するという点について適切な教育が行われておらず、各自の独断で進められていることが理由の一つとして挙げられます。実験計画法といったものもありますが、適用するためには自身でパラメーターを設定する必要があります。本セミナーでは、パラメーター選択から、実際の実験水準としての条件設定の考え方、結果解釈について、事例を交えながら詳細に解説します。

ケーススタディー、実践演習以外に、要所で学びの確認と深化のための修得演習を行います。

1. イントロダクション

- 1-1 実験と開発
- 1-2 開発とは何か
- 1-3 実験の本当の意味
- 1-4 実験を考えるととは など

2. 駄目な実験の典型

3. 実験の基盤

- 3-1 実験の寄与
- 3-2 ピラミッド構造
- 3-3 実験→パラメーター・条件
- 3-4 タブー など

4. パラメーターと条件の基本

- 4-1 基本方針
- 4-2 実験3要素
- 4-3 3要素の関係
- 4-4 3要素から実験へ
- 4-5 実験マトリクスの考え方
- 4-6 実験条件の考え方
- 4-7 条件範囲の設定
- 4-8 実験パラメーターの選び方
- 4-9 パラメーターの範囲 など

5. パラメーターの考え方

- 5-1 パラメーター選択のスタート地点
- 5-2 KGIとKPI
- 5-3 KGIのKPI化
- 5-4 KPIのパラメーター化プロセス
- 5-5 パラメーター検討の基本
- 5-6 特性要因図(フィッシュボーン)

5-7 コーザーリティー分析

5-8 扱いにくいパラメーター

5-9 仮想モデル化

5-10 補足検討 など

6. 条件(実験水準)の考え方

- 6-1 実験水準(パラメーター)の条件
- 6-2 条件設定要素
- 6-3 実験水準(ステップ)
- 6-4 実験条件の絞り込み
- 6-5 パラメーター制御
- 6-6 n数の考え方
- 6-7 平均の罫
- 6-8 時間算定 など

7. 結果取得(分析・評価)

- 7-1 機器分析と計測
- 7-2 評価モード
- 7-3 様々な手法と選択
- 7-4 悪しき誤解 など

8. 実験誤差・精度

- 8-1 正確なデータを得るために
- 8-2 真値と測定値
- 8-3 誤差要因
- 8-4 信頼性管理 など

9. 実験のための情報収集

- 9-1 実験検討の情報源
- 9-2 実験方法検討の条件
- 9-3 文献検索のポイント
- 9-4 文献の読み方と資料整理 など

10. ケーススタディーと実践演習

11. まとめと質疑

『実験の実務【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● Webセミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>